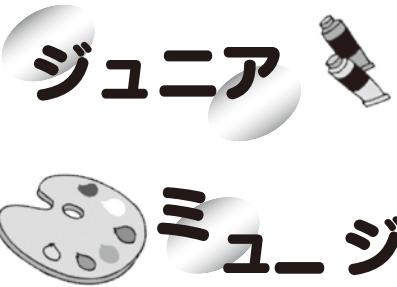


ジュニアミュージアム



「二十才のぼくへ出発進行」

三沢小5年(4年生の時の作品です)

荒船 碧偉くん



ぼくは、四年生の一年間をふり返って、二分の一成人式について書くことにしました。

二分の一成人式とは、十才は大人になるまでの半分なのでそのことを、祝つたりする式です。四年生は十才の誕生日をむかえる年なので、最後の授業参観で式をしました。最初に、スピーチをやりました。ぼくは、「ああ、すごくきんちょうするなあ。」と思いまして。みんな自分のスピーチを

していきました。とうとう自分の番がやつてきました。ぼくは、「だいじょうぶ、ぼくならできる。」と思いましたながら話しました。「やつたー。」と思いつながら話せたぞ。」と思いました。すごくうれしかったです。

次に、先生から二分の一成人証書をもらいました。中を読んでみたら、自分が生まれた日の新聞があつたり、「二十才になつたぼくのことを書くところがありました。ぼくは、すごくうれしかったです。

次に、みんなでゲームをやりました。チームにわかれています。

まず、絵しりとりをやりました。絵をかいて、その絵が何か当てたりしました。ぼくは四番目でした。絵しりとりでは九対二で勝ちました。

次に、伝言ゲームをしました。

先生が言つたお題を言わなければならぬのでむづかしかつたです。一回戦は勝ち、二回戦は負けてしまいました。どちらもすごく楽しかつたです。

最後に、お母さんに手紙をわざしました。お母さんはにこにこしながら、「ありがとう。」

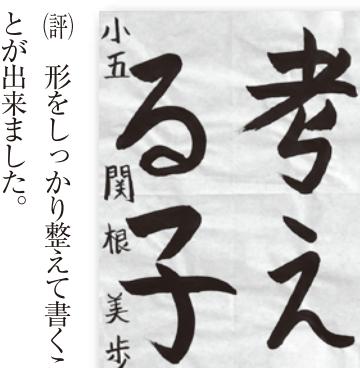
「一滴に愛をこめて」

皆野中卒業生(3年生の時の作品です)

新井 遥さん



(本人のコメント) このポスターは、一人でも多くの人が献血に参加してくれるように想いをこめて描きました。一日でメッセージが伝わるよう配置を工夫し、優しい色合



(評) 形をしっかりと整えて書くことが出来ました。



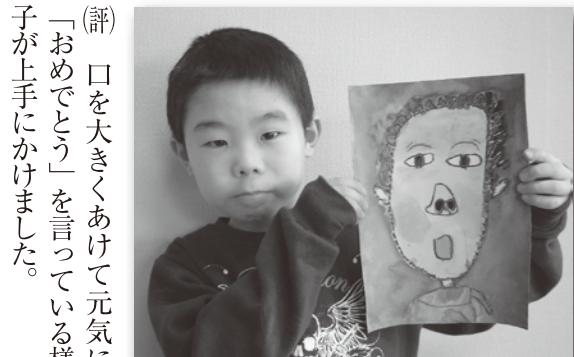
(評) 「かまえ」のはらい、そりが形よく書けました。組み立てにも気を配っています。

皆野小6年(5年生の時の作品です)
関根 美歩さん

国神小6年(5年生の時の作品です)
富田 一輝くん



皆野小2年(1年生の時の作品です)
小笠原美怜さん



(評) 口を大きくあけて元気にやく書くことができました。

蓼沼 大英くん

新しい一年生にやさしい笑顔で「おめでとう」を言つているところが上手にかけました。

皆野小2年(1年生の時の作品です)
ひろひで